

最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出は14.5%増と3ヶ月連続二桁増～

日本機械輸出組合 2012.7.18.

5月の機械輸出額は、3兆3,661億円、対前年同月比14.5%増と3ヶ月連続で二桁の大幅増となった。これは、機械輸出額の約1/3を占める自動車が67%増と北米を中心に全地域向けに大幅に増加したこと、昨年5月の機械輸出が12.8%減と大幅に減少したことへの反動が主因である。

6月については、円高の進行で2.3%減、営業日が1日少なく4.5%減で合わせて6.8%減となり、5月の実質的伸び(5.7%増)になったとしてもマイナスの伸び率が予想される。

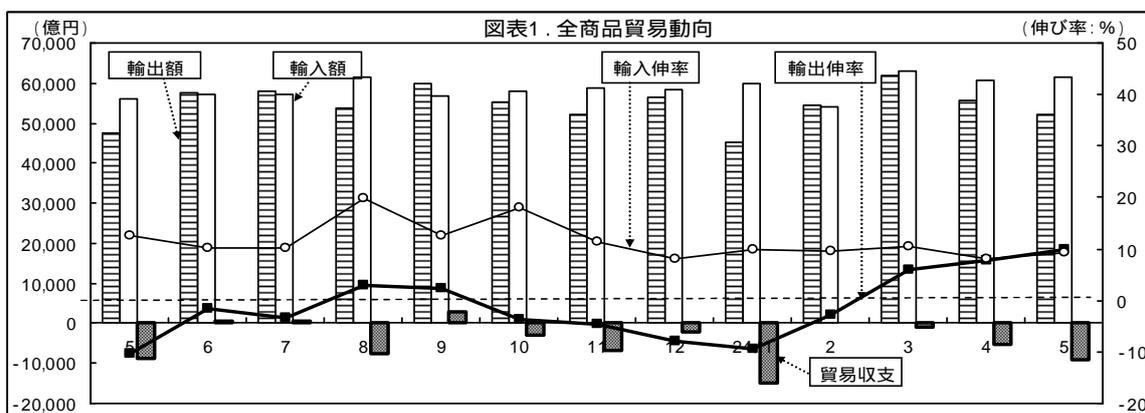
因みに、6月上中旬の全商品輸出額の伸び率は4.7%減であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は3ヶ月連続プラスも、入超で貿易収支は3ヶ月連続貿易赤字～

1)平成24年5月の全商品輸出額は5兆2,331億円、前年同月比(以下同じ)10.0%増と3ヶ月連続でプラスとなった(4月7.9%増)。これは、全輸出額の23%を占める自動車等輸送用機器(50.6%増)が大幅に増加したことによる。

2)輸入額は6兆1,435億円、前年同月比9.3%増と依然、高水準で推移しており2年5ヶ月連続でプラスとなった(4月8.1%増)。これは、全輸入額の約34%を占める原油・ガス等鉱物性燃料(19.6%増)が高水準の伸びを続けているほか、11.2%の携帯等電気機器(10.9%増)、3.1%の航空機類等輸送用機器(68.3%増)が増加したためである。

3)この結果、5月の貿易収支は9,103億円の入超となり、3ヶ月連続の貿易赤字となった。

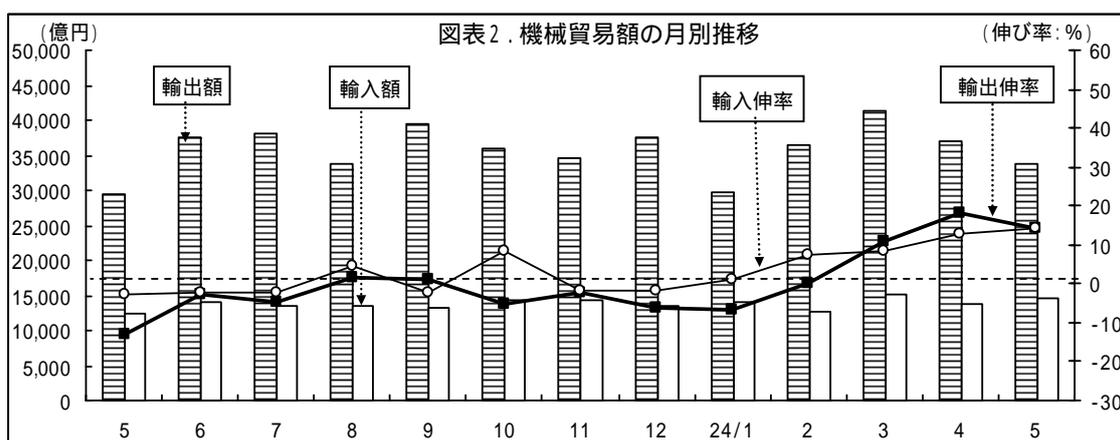


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は14.5%増と3ヶ月連続で二桁増～

1)全商品輸出額の約64%を占める5月の機械輸出額は3兆3,661億円、14.5%増と前年5月が大幅に落ち込んだこと(12.8%減)もあって、3ヶ月連続で二桁の大幅増となった(4月18.3%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年5月)に比べると、75.0%と3.8ポイント後退した(4月78.8%)。

2)一方、全商品輸入額の約24%を占める機械輸入額は、1兆4,579億円、14.3%増と5ヶ月連続でプラスとなった(4月12.8%増)。輸入額の水準は、リーマンショック以前の95.1%と前月より4.8ポイント上昇した(4月90.3%)。

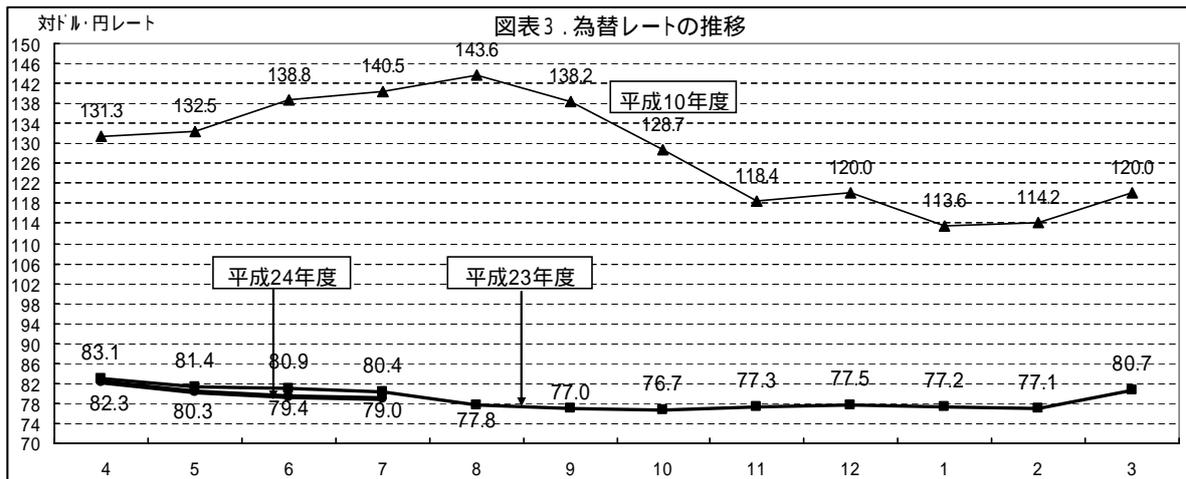


(2) 為替動向・営業日～5月は為替が1.7%減、営業日が10.5%増、6月は合計6.8%の減少～

1) 5月は1ドル = 80.4円と欧州信用不安の再燃で再び円高となり、前年比では1.2%の円高であり、また、対ユーロ = 105.1円では10.8%の円高となり、合わせて1.7%の僅かな減少要因となった。営業日は2日多いので10.5%の増加要因となり、合計8.8%の増加要因となった。5月の輸出額は14.5%増であったことから、実質的伸び率は5.7%増の伸びに減少した(4月19.5%増)。

2) 6月は1ドル = 79.4円と欧州信用不安でさらに円高が進み、前年比では1.9%の円高であり、また、対ユーロ = 100円では13.7%の円高となり、合わせて2.3%の減少要因となった。営業日は1日少ないので4.5%減となり、合計6.8%の減少要因となる。

3) 7月は、対ドルが現状の79円とすれば1.7%の円高となり、また、対ユーロが過去最安値の97円とすれば15.7%の円高となり、合わせると2.4%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べ1日多く、5.0%の増加要因となり、合計2.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米向けは7ヶ月連続大幅増、中国向けは8ヶ月ぶりにプラス～

1) 機械輸出が増加した地域的要因は、機械輸出額の22%を占める北米向けで、輸出額の49%占める乗用車(2.2倍増)が大幅増となったほか、自動車部品(64.5%増)、重電気(54.7%増)、軽機械(46.2%増)、建設機械(43.6%増)、デジカメ(40%増)、工作機械(34.0%増)等が寄与して46.2%増と7ヶ月連続で大幅増となったこと、20%を占めるその他地域向けでは、中南米、インドを除き、中近東(64.7%増)、アフリカ(48.8%増)、大洋州(30.7%増)、ロシア東欧等(15.3%増)で2ケタ増となり、機種では、全体の約55%を占める自動車(70.9%増)、自動車部品(42.1%増)、重電気機械(32.7%増)、工作機械(38.7%増)、軽機械(15.1%増)の増加が寄与して14.8%増となったこと、28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けで、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポールが2ケタの大幅増となり、業種では、自動車、産業機械、自動車部品、工作機械、重電気機械等が増加し、10.4%増となったこと、17%を占める中国向けでは、全体の10%を占める自動車(68.1%増)、自動車部品(42.3%増)、デジカメ(26.6%増)、分析・試験・検査機(29.7%増)等が増加し、2.7%増と8ヶ月ぶりのプラスとなったことによる。

2) 他方、11%を占めるEU向けは、輸出額の18%を占める産業機械(5.8%減)、電子デバイス(45.4%減)、軽電気機械(白物家電)(26.2%減)等が減少し、前月から一転1.8%減とマイナスとなった。

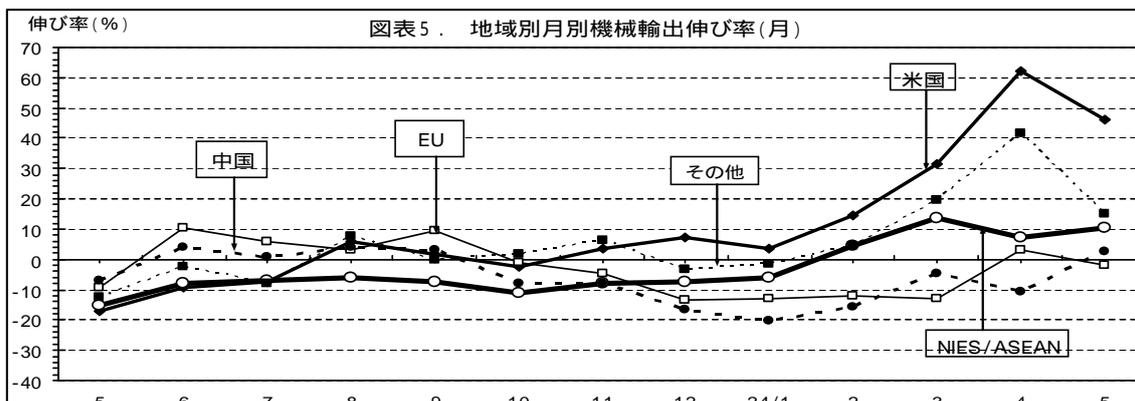
3) また、リーマンショック前の平成20年5月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えたのは皆無となり、中国が90%台、北米、NIES/ASEANは80%台、その他の地域は60%台、EUは50%台に留まっている。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2012/3			2012/4			2012/5			対08年5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,349	10.9	100	37,029	18.3	100	33,661	14.5	100	0.75
北米	8,847	31.7	21.4	8,299	62.1	22.4	7,579	46.2	22.5	0.80
EU	4,278	12.8	10.3	4,128	3.0	11.1	3,845	1.8	11.4	0.52
NIES/ASEAN	11,712	13.6	28.3	10,488	7.3	28.3	9,452	10.4	28.1	0.80
中国	7,107	4.9	17.2	5,957	10.5	16.1	5,818	2.7	17.3	0.92
その他	9,404	19.4	22.7	8,157	41.8	22.0	6,967	14.8	20.7	0.68

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2012/2		2012/3		2012/4		2012/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,817	6.6	2,089	7.2	1,766	4.5	1,530	7.9
台湾	1,552	14.3	1,655	12.9	1,578	11.9	1,526	6.3
香港	1,341	8.0	1,576	10.4	1,518	3.2	1,286	3.8
タイ	1,890	22.1	2,278	45.0	1,978	29.1	1,743	39.2
シンガポール	759	7.7	1,008	9.5	885	5.2	849	10.3
インドネシア	856	25.3	1,148	80.9	1,015	56.7	941	64.7
マレーシア	749	4.3	809	3.0	705	1.0	693	4.7
フィリピン	551	31.3	599	41.4	575	38.4	517	24.4
ベトナム	325	24.9	422	50.2	354	24.4	271	21.8
その他地域								
中南米	2,364	15.2	2,751	1.7	2,768	17.8	2,102	13.3
中近東	1,648	12.9	1,818	35.5	1,452	124.4	1,314	64.7
大洋州	1,202	5.2	1,605	70.0	1,412	117.5	1,067	30.8
ロシア東欧等	1,291	4.8	1,357	17.8	1,291	50.5	1,117	15.3
アフリカ	633	20.6	1,129	35.7	673	5.2	903	48.8
インド	488	12.1	547	14.5	415	7.4	371	9.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 自動車が増え機械輸出を牽引 ~

- 業種別では、全19業種中プラスとなったのが8業種で、前月より4業種減少した。全体の約30%を占める自動車が66.9%増と前月に引続き大幅増となり、機械輸出を牽引した。その他、重電気機械(11.9%増)、分析器等軽機械(23.0%増)、工作機械(18.0%増 2年4ヶ月連続)、が2ケタ増となった。他方、産業機械(9.0%減)、電子デバイス(6.7%減 17ヶ月連続)、船舶(13.6%減)、電子計算機(6.0%減)、繊維機械(21.4%減 10ヶ月連続)等が大幅なマイナスとなった。
- この結果、リーマンショック前の水準を超えているのが医療機械、船舶、ベアリングの3業種で、他方、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、産業車両、農業機械、電子デバイス、繊維機械、は40~60%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2012/3				2012/4				2012/5				対08/5比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	13,175	34.7	31.9	自動車	12,359	96.3	33.4	自動車	11,415	66.9	30.8	0.75
産業機械	7,231	2.0	17.5	産業機械	6,523	6.9	17.6	産業機械	5,770	9.0	15.6	0.80
電子デバイス	3,037	9.2	7.3	電子デバイス	2,634	10.5	7.1	電子デバイス	2,565	6.7	6.9	0.63
船舶	2,212	15.8	5.3	船舶	2,181	3.9	5.9	船舶	1,581	13.6	4.3	1.10
軽電気機械	1,995	3.0	4.8	軽電気機械	1,801	10.2	4.9	軽電気機械	1,673	0.2	4.5	0.72
民生用電子機械	1,993	13.5	4.8	民生用電子機械	1,764	11.7	4.8	民生用電子機械	1,591	5.2	4.3	0.50
重電気機械	2,413	13.2	5.8	重電気機械	1,744	5.5	4.7	重電気機械	1,694	11.9	4.6	0.82
軽機械	1,519	16.9	3.7	軽機械	1,333	7.4	3.6	軽機械	1,237	23.0	3.3	0.74
光学機械	1,254	0.8	3.0	光学機械	1,267	2.6	3.4	光学機械	1,140	4.8	3.1	0.90
建設機械	1,649	37.1	4.0	建設機械	1,256	35.2	3.4	建設機械	1,090	9.4	2.9	0.71
工作機械	1,163	25.6	2.8	工作機械	854	15.4	2.3	工作機械	796	18.0	2.1	0.96
通信機械	540	17.0	1.3	通信機械	477	6.3	1.3	通信機械	388	4.6	1.0	0.42
電子計算機	505	3.4	1.2	電子計算機	397	0.6	1.1	電子計算機	361	6.0	1.0	0.40
ベアリング	395	7.0	1.0	ベアリング	378	9.6	1.0	ベアリング	347	3.4	0.9	1.02
陸用内燃機関	448	3.1	1.1	陸用内燃機関	356	15.0	1.0	陸用内燃機関	319	6.0	0.9	0.85
医療機械	423	17.1	1.0	医療機械	283	1.3	0.8	医療機械	278	3.7	0.8	1.13
繊維機械	207	25.1	0.5	繊維機械	140	44.7	0.4	繊維機械	162	21.4	0.4	0.65
農業機械	178	25.8	0.4	農業機械	151	11.7	0.4	農業機械	120	3.7	0.3	0.60
産業車両	141	1.9	0.3	産業車両	117	14.1	0.3	産業車両	112	2.2	0.3	0.52
19業種合計	40,478		97.9	19業種合計	36,015		97.3	19業種合計	32,639		97.0	0.74

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハソコ、HDD、プリンタ等部品。軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器、光学機械、光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～発電機、乗用車、自動車部品は大幅増、他方、電池、半導体製造装置は大幅減～

- 1) 高い伸び率を示した機種は、北米、その他地域、中国等向け**発電機(2倍増)**、北米、その他地域、中国等向け**乗用車(93.5%増)**、北米、その他地域、ASEAN等向け**自動車部品(42.6%増)**、北米、その他地域、ASEAN等向け**建設機械(35.2%増)**、中国、北米、ASEAN等向け**分析・試験・検査機(29.0%増)**、北米、中国、EU等向け**デジカメ(24.6%増)**、韓国・台湾、ASEAN、北米等向け**電気・電子計測器(21.8%増)**、韓国・台湾、ASEAN、北米等向け**電子応用装置(20.4%増)**、ASEAN、北米、その他地域等向け**工作機械(18.0%増)**、EU、ASEAN、北米等向け**産業用ロボット(14.8%増)**となっている。
- 2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、**電池(50.3%減)**、**半導体製造装置(37.0%減)**、**繊維機械(21.4%減)**、**風水力機械(19.1%減)**、**船舶(13.6%減)**、**金属加工機械(11.6%減)**であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/3			2012/4			2012/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	242	63.1	乗用車	6,882	219.9	発電機	178	100.5
デジカメ	794	41.9	デジカメ	672	87.1	乗用車	6,445	93.5
乗用車	7,241	39.3	建設機械	1,256	35.2	自動車部品	3,881	42.6
電子応用装置	76	38.7	磁気カード・ディスク等	170	17.9	建設機械	1,090	35.2
建設機械	1,649	37.1	工作機械	854	15.4	分析・試験・検査機	692	29.0
磁気カード・ディスク等	198	26.0	陸用内燃機関	356	15.0	デジカメ	581	24.6
農業機械	178	25.8	産業車両	117	14.1	電気・電子計測器	398	21.8
工作機械	1,163	25.6	自動車部品	4,141	14.1	電子応用装置	50	20.4
機種合計	11,541	27.9%	産業用ロボット	109	12.7	工作機械	796	18.0
			分析・試験・検査機	754	11.3	産業用ロボット	90	14.8
			機種合計	15,311	41.3%	機種合計	14,201	42.2%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2012/3			2012/4			2012/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	207	25.1	電池	173	51.0	電池	152	50.3
半導体製造装置	1,317	17.4	繊維機械	140	44.7	半導体製造装置	956	37.0
船舶	2,212	15.8	半導体製造装置	1,156	28.8	繊維機械	162	21.4
機種合計	3,736	9.0%	原動力機械	345	22.7	風水力機械	560	19.1
			民生用電子部品	780	16.5	船舶	1,581	13.6
			電子デバイス	2,634	10.5	金属加工機械	251	11.6
			軽電気機械	1,801	10.2	機種合計	3,662	10.9%
			TV	83	10.2			
			機種合計	7,112	19.2%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 *機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～乗用車、自動車部品、航空機、民生用電子部品等が大幅増～

- 1) 5月の機械輸入伸び率は14.3%増と5ヶ月連続でプラスとなったが、その要因は、二大輸入機種である電子計算機(6.7%増、4ヶ月連続)及び電子デバイス(2.3%増、17ヶ月ぶり)がプラスとなったほか、乗用車(61.4%増、10ヶ月連続)、自動車部品(63.1%増、11ヶ月連続)、航空機(80.4%増、2ヶ月連続)、白物家電(27.2%増、5ヶ月連続)等が大幅増となったことなどによる。

一方、機械輸入額上位機種でマイナスとなったのは**重電気機械(15.5%減)**のみとなった。

- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、エアコン、医療機器、TV、時計、録画・再生機器、ラジオとなっている。

- 3) 地域別機械輸入額は、中国(16.0%増)、ASEAN(16.7%増)、北米(5.6%増)、EU(19.5%増)、韓国・台湾(10.2%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2012/3				2012/4				2012/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,896	7.0	12.6	電子計算機	1,748	11.8	12.7	電子計算機	1,689	6.7	11.6
電子デバイス	1,421	0.3	9.4	電子デバイス	1,335	0.2	9.7	電子デバイス	1,477	2.3	10.1
携帯電話	760	28.4	5.1	携帯電話	754	118.2	5.5	白物家電	773	27.2	5.3
乗用車	735	18.5	4.9	航空機	694	71.9	5.1	乗用車	770	61.4	5.3
自動車部品	685	10.8	4.6	白物家電	626	20.2	4.6	自動車部品	705	63.1	4.8
重電気機械	629	2.3	4.2	自動車部品	614	16.0	4.5	重電気機械	662	15.5	4.5
航空機	614	558.8	4.1	重電気機械	595	0.0	4.3	携帯電話	491	14.9	3.4
白物家電	559	13.7	3.7	乗用車	575	5.2	4.2	医療機器	464	9.9	3.2
医療機器	534	3.2	3.5	医療機器	422	3.5	3.1	航空機	414	80.4	2.8
光学機械	335	6.5	2.2	民生用電子部品	276	2.6	2.0	民生用電子部品	355	40.5	2.4
民生用電子部品	313	2.2	2.1	光学機械	293	2.0	2.1	光学機械	347	8.9	2.4
分析・試験・検査機	307	4.6	2.0	分析・試験・検査機	222	3.7	1.6	分析・試験・検査機	262	14.3	1.8
12機種合計	8,481		56.4	12機種合計	8,154		59.4	12機種合計	8,409		57.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械